

駿河湾や富士を眺めつつ峰をつなぐアップダウンを歩く
沼津アルプス

実施日 2016年3月26日(土)
 天候 晴れ
 リーダー 涌井 良明
 参加者 涌井良明、石附智江、渋谷京子、伊藤久雄、宇野輝代、瀧澤きよの、峯川弘子、G(潮俊樹) 計8名
 費用 列車8,270円(東京起算・新幹線時)
 170円 計8,440円
 タイム 原木駅(8:28~40)登山口(9:00)茶臼山(9:21~25)大嵐山・日守山(9:50~10:00)見晴し(10:35)大平山(11:30~12:00昼食)鷲頭山(12:47~13:00)小鷲頭山(13:11)志下峠(13:30)志下山(13:50~55)徳倉山(14:40~50)横山峠(15:05)横山(15:25~30)車道(15:47)香貫山(16:20~30)黒瀬BS(17:10~13)沼津駅(17:30)

寒さのぶり返しと気になった天気だったが、殊の外の好天気と寒さも気にならずに若者のゲスト参加も含めて元気一杯、参加者全員行動時間8時間オーバーの山行を余裕で踏破した…かも!(^^)!。

今日は駅からハイキング、原木駅8時40分スタート。ガイド?役のMさんに登山口までエスコートしてもらいアプローチでウロウロせずに済んだのはありがたかった。



登山口からまずは軽く登って茶臼山へ、ここから北端の最終ピーク香貫山までナガ〜イ登ったり下ったりの繰り返しになるのだ

あ! ツカレソー!

さっそく次の大嵐山(日守山)へ150位の登り、山頂は広場で展望台もあってとて



も眺めが良い。地元民の憩いの裏山と言った感じ、桜もあって10日程後ならさぞ賑やかな…。

アプローチ?も終わりここから奥沼津アルプスの面目躍如の道になる。道ははっきりしているが、前後ともに人影はなくなる、一気に急下降してから小さく登降、見晴しを過ぎると痩せ尾根や岩も見られるようになる。



ほぼ垂直なハシゴを下り、岩稜を越え(巻道有)岩塊を固定ロープで下り、更にもう



一度ハシゴを下って大平山へと進む、低山とは思えないような変化のある尾根歩きで、書き込

み等にもあったまさに沼津アルプスの核心部の行程だろう。

ロープの張られた100位の急登を、一気に登ると大平山(オハラヤマ)に着く。一般的に沼津アルプスの起(終)点となっている

山頂は広く、何組かの登山者が山頂の憩いを楽しんでいる。



この先まだ半分以上の行程を残しているのだから、それほどゆったりとはいかないが、明るい山頂で我々も後半に備えて昼食にする。

例によって大平山をトラロープで急下降して、当初予定の多比口ルート



の多比口ルートに合流。

岩と木の根の瘦せた稜線の登降が続く、岩尾根が一段落して、多比峠だ。ここから山稜最高峰の鷲頭山へ登りになる。固定ロープのある130mほどを登るが、傾斜はやや緩いので先程よりはラクか？ 鷲頭山の明るい山頂から駿河湾が美しい、この先は海をお供に歩くようになった。

鷲頭山を過ぎると多少足場に気を遣うコース一番の急下降が待っていた、勿論フィックスロープがあるが、先行パーティのオットト歩きで渋滞、えらく時間がかかってしまう。いつ抜かせてくれるかとピツタリ後ろに付くが、下り切るまで…ア～ア！少しは後続パーティに気を遣ってほしいものである。天城山のイライラ再び…といったところか。

所々の眺望ポイントで左手に広がる駿河湾が美しく、海岸沿いの山歩きを実感する。志下峠～志下山と登ったり下ったりをして、志下坂峠を過ぎ(気付かなかった)像の背とある282m地点を過ぎると沼津市街も見えてくる。



徳倉山への登りで、再び汗を絞られる。山頂からは愛鷹山が大きい、が、奥にある

徳倉山への登りで、再び汗を絞られる。山頂からは愛鷹山が大きい、が、奥にある

徳倉山への登りで、再び汗を絞られる。山頂からは愛鷹山が大きい、が、奥にある

筈の富士はとうとう今日は顔を見せななかった。

段差の大きい不揃いの急な階段道を下り、横山峠、横山と辿り、下って一旦車道に降り立つ。左へ進み香貫山入口から締め



の山に向かう。すっかり里山となり、山道～舗道と進んで大きな無線設備のある香貫山頂へ。これで北から南にL字型に連なる沼津アルプス全山を辿ったことになるかな。



遊歩道となった道を夕陽を見ながら下り、途中から車道を下り、街へ出た。狩野川近くの黒瀬BSから沼津駅へ出て、長かった行程も予定通りに完了できた。

長丁場にもめげず歩いたメンバーにも感謝です。また、コースアドバイスをくれたMさん有難うございました。おかげで、天気良し、桜も見て、オーシャンビューありで満点な山行でしたね。

長丁場ならではの達成感もあって大変楽しゅうございました。

みなさんもヨカッタ！ でしょ？

(記&写真・涌井 良明)



(写真提供・伊藤 久雄)

みなさんもヨカッタ！ でしょ？

(記&写真・涌井 良明)

(写真提供・伊藤 久雄)

